

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 佐藤 正行
事務局長 新津 智哉
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
印刷所 (株) 有伸商会
TEL (011)814-6211

第34回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第10回 読書感想画全道コンクール

第34回読書感想画中央コンクール・第10回読書感想画全道コンクールの審査が、1月8日(日)、毎日新聞社北海道支社で行われました。

全道各地から610点の応募を受け、慎重に審査を行った結果、小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

最優秀賞

小学校低学年の部



「じゅんばんこ」

札幌市立新琴似小学校3年 杉 田 昇 太
『あかいてぶくろ』小峰書店(林木林/文 岡田千晶/絵)

小学校高学年の部



「戦争のない世界～「いのち」の大切さ～」
札幌市立円山小学校6年 福川 皓 貴
『動物が教えてくれた人生で大切なこと。』河出書房新社(小菅正夫/著)

中学校の部



「火星の可能性」

北海道教育大学附属旭川中学校1年 大 串 雪 花
『火星は…あすなる書房(スザンヌ/文 千葉茂樹/訳 三河内岳/監修)』

高等学校の部



「決意」
北海道羽幌高等学校2年 道 中 藍 加
『蛭と月の真ん中で』ポプラ社(河邊徹/著)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

- ※じゅんばんこ
- ※戦争のない世界～「いのち」の大切さ～
- ※火星の可能性
- ※決意

札幌市立新琴似小学校	3年	杉田昇	太貴
札幌市立円山小学校	6年	福川皓	貴花
北海道教育大学附属旭川中学校	1年	大串雪	藍加
北海道羽幌高等学校	2年	大道中	

《優秀賞》

- ※土居くんおかいけいしてるよ
- ※ねこちゃん
- ※感じとれ、エヴィー！
- ※なつかしきおしいれ
- ※The galaxy saba
- ※白い華の舞
- ※ああはなるまい

札幌市立本郷小学校	2年	晒谷楓	莉月
札幌市立北郷小学校	1年	工藤杏	優桜
札幌市立西岡北小学校	5年	毛利利	花輝
函館市立駒場小学校	6年	白井和	紗雪
札幌市立新川西中学校	1年	小笠原	伊藤
市立札幌開成中等教育学校	1年	竹鼻	
北海道有朋高等学校	2年	伊藤	

《優良賞》

- ねずみとうさぎがけんかした
- 動物の歌声
- ※よかったね、おさるさん
- ねこがいたずらしようとしたらえのぐつけた
- ※ぼくの夢
- いざ！！参る
- マララのやさしい心
- はなれていても虫フレンズ
- みんなで
- ※見守るペンギン
- 時空を超えて繋がる城
- 小学校
- ※刹那

札幌市立本郷小学校	1年	小森結	翔多
札幌市立新琴似小学校	3年	森本敢	楓月
札幌市立本郷小学校	2年	晒谷	正明
札幌市立北郷小学校	1年	鈴木	匡人
札幌市立厚別北小学校	4年	佐々木	正匡
栗山町立継立小学校	5年	齊藤	川理
栗山町立継立小学校	6年	鵜川	明結
栗山町立継立小学校	6年	澤田	明梨
札幌市立新川西中学校	3年	小山内	優月
旭川市立愛宕中学校	2年	谷藍	衣乃
北海道登別明日中等教育学校	1年	成澤	結紀
旭川市立愛宕中学校	2年	樋口	晴乃
札幌大谷高等学校	1年	横溝	柚穂

《学校賞》

- 小学校の部 札幌市立新琴似小学校
- 中学校の部 旭川市立愛宕中学校
- 高等学校の部 該当校なし

※=全国行き作品

第34回読書感想画中央コンクール・第10回読書感想画全道コンクール【総評】

素敵な本たちとの出会いから、表現することの楽しさへ

北海道造形教育連盟 事務局長 **堀口基一**
(札幌市立新光小学校 校長)

第10回の読書感想画全道コンクールには、昨年度とほぼ同数の610点の作品が全道から集まりました。ここ数年、コロナ禍の影響もあり応募数の減少が気になるころでしたが、今年度も多くの作品が集まり大変喜ばしく思います。

審査会当日、会場には子どもたちの感性溢れる力作が揃い、改めて子どもたちの表現力の豊かさや読書を楽しみ、絵に表すことの素晴らしさを感じることができました。本コンクールのテーマである「読書感想画」が子どもたちにとって魅力的な取組となるよう、保護者や学校の先生方、子どもたちに関わってくださる皆様には温かいご理解と熱心なご指導を賜り、心から感謝申し上げます。また本コンクールを主催する北海道学校図書館協会と毎日新聞社には、本事業への熱意ある取組に敬意を表します。

当日の審査会は、子どもたちの発達段階を考慮し、小学校低学年（1～3年生）、小学校高学年（4～6年生）、中学校、高等学校の四部門に分けて審査をいたしました。

低学年では、お話の中から好きな場面を見つけて表したり、お話から想像したことを次々に画面に描いたりしている子どもたちの楽しそうな姿が浮かんできました。先生や友達、家族とお話しながら、次々に膨らむ自分の世界を楽しんで描いている様子が伝わってきました。

高学年になると、物語から主題を深く読み取り、場面構成や表現技法の工夫により描きたいテーマや自分らしいイメージを表現しようとする姿が浮かんできました。今回も素晴らしい秀作が集まり、描画材や色づかいにも工夫が見られ、個性溢れる表現力の高さに感心いたしました。

中学校、高等学校になると、小学校に比べ出品数は多くはありませんでしたが、選定した本の世界をじっくりと味わい、読み深めると共に、自分の世界観を加えて独創的かつ技巧的にも優れた表現ばかりで、選考には大変苦労いたしました。描くことへの高い意欲や表現に向かう真剣な姿、そして際立った個性が一点一点の作品から伝わってきました。

審査を通じて、読書により豊かに想像を膨らませ、みずみずしい感性を發揮しながら、心に届く素晴らしい表現の結晶としての作品たちに出会えました。審査員一同、子どもたちのもつ優れた感性や造形表現のもつ力強さ、素晴らしさを感じることができました。

本コンクールへの取組をきっかけとし、子どもたちがこれからも読書に親しみ、素敵な本たちと巡り合うことで、物語から感じたこと、膨らんだイメージを形や色で表現することの楽しさや創り出す喜びを味わいながら、更に豊かな表現を目指してくれることを願っています。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

栗山町継立小	1年	後藤 雫	札幌市本郷小	1年	平賀 充希	札幌市新琴似小	3年	寺田 愛音
栗山町継立小	1年	小倉 碧生	札幌市厚別北小	2年	佐々木英俊	札幌市新琴似小	3年	斉藤 圭珂
札幌市白楊小	1年	佐鯉 朱莉	札幌市北郷小	2年	興膳 快人	札幌市新琴似小	3年	多田 奈知
札幌市白楊小	1年	座間 百花	札幌市北郷小	2年	坂上 愛結	札幌市新琴似小	3年	大口 愛恵
札幌市白楊小	1年	神原 侑里	札幌市北郷小	2年	坂本 咲良	札幌市新琴似小	3年	平間 友菜
札幌市北郷小	1年	伊藤 星奈	札幌市北郷小	2年	山本 啓太	札幌市新琴似小	3年	高橋 怜聖
札幌市北郷小	1年	井上 藍那	札幌市北郷小	2年	山本 康太	札幌市北九条小	3年	小野世梨花
札幌市北郷小	1年	加藤 煌也	札幌市北郷小	2年	小田 莉愛	奨励賞(小高)		
札幌市北郷小	1年	花房 瑛士	札幌市北郷小	2年	前田菜々美	札幌市新陽小	4年	東 由紀乃
札幌市北郷小	1年	外川 紗菜	札幌市北郷小	2年	前島 芽愛	栗山町継立小	5年	谷川 柚稀
札幌市北郷小	1年	佐伯 柊治	札幌市北郷小	2年	中富 美海	栗山町継立小	5年	小倉 翔樹
札幌市北郷小	1年	榊 真奈美	札幌市北郷小	2年	長島向日葵	函館市駒場小	6年	阿部りのん
札幌市北郷小	1年	笹森 雪乃	札幌市北郷小	2年	本間 千裕	函館市駒場小	6年	野田 葵
札幌市北郷小	1年	山本 望結	札幌市北郷小	2年	高橋 慶祐	函館市駒場小	6年	夏井 美羽
札幌市北郷小	1年	小橋あかり	札幌市本郷小	2年	佐藤 百佳	函館市駒場小	6年	館内 悠生
札幌市北郷小	1年	赤坂日茉莉	札幌市本郷小	2年	小岩 莉緒	函館市駒場小	6年	菅井 萌夏
札幌市北郷小	1年	川島 夕奈	札幌市本郷小	2年	杉本 悠	奨励賞(中学)		
札幌市北郷小	1年	川瀬 璃子	札幌市本郷小	2年	前田 大和	旭川市愛宕中	1年	入江 光輝
札幌市北郷小	1年	相馬 咲那	札幌市本郷小	2年	大塚 海由	旭川市愛宕中	1年	青木 彩恵
札幌市北郷小	1年	大河内広翔	札幌市本郷小	2年	楠戸ゆづき	旭川市愛宕中	1年	安井 千尋
札幌市北郷小	1年	大澤 琴葉	札幌市本郷小	2年	柳澤 愛結	市立札幌開成中等教育学校	1年	西村 瑞徳
札幌市北郷小	1年	中村優美花	札幌市本郷小	2年	高澤 明弘	市立札幌開成中等教育学校	1年	土永理咲子
札幌市北郷小	1年	中平 結華	苫小牧市拓勇小	2年	京極 莉空	千歳市青葉中	1年	泉 音楓
札幌市北郷小	1年	土屋 望椛	函館市北星小	2年	福永 楓	旭川市愛宕中	2年	大橋 遥
札幌市北郷小	1年	堀越 凧砂	札幌市ひばりが丘小	3年	山本 新大	札幌市藤野中	2年	山田 愛梨
札幌市北郷小	1年	鈴村 航史	札幌市札幌小	3年	阿部昇太郎	千歳市青葉中	2年	高木 慶乃
札幌市北郷小	1年	齊藤 優月	札幌市札幌小	3年	吉川日奈子	千歳市青葉中	2年	田村 佳凜
札幌市本郷小	1年	加藤 充	札幌市札幌小	3年	石亀 花珠	東川町東川中	2年	鷺見さくら
札幌市本郷小	1年	菊池 奏成	札幌市札幌小	3年	梅原 花	東川町東川中	2年	三上 もも
札幌市本郷小	1年	高山 朝陽	札幌市札幌小	3年	牧野 想	八雲町八雲中	2年	影浦 由羽
札幌市本郷小	1年	出崎 凜和	札幌市新琴似小	3年	加納 奈実	市立札幌開成中等教育学校	3年	寺部友里夏
札幌市本郷小	1年	小野 美咲	札幌市新琴似小	3年	丸山 蒼介	奨励賞(高校)		
札幌市本郷小	1年	川崎 道奏	札幌市新琴似小	3年	久保 諒晟	該当なし		
			札幌市新琴似小	3年	三浦 冨			

『民主主義社会と学校図書館』

講演：元藤女子大学教授 渡邊重夫氏

講師紹介 (北海道学校図書館協会 会長 佐藤 正行)

渡邊重夫氏は北海道学芸大学を卒業後、札幌静修高等学校に勤務し校長を務めご退職されました。その後、藤女子大学教授に就任され、北海道教育大学「司書教諭講習」講師他、多くの大学の非常勤講師を歴任、日本図書館協会「図書館の自由に関する調査委員会」にも所属されました。『図書館の自由と知る権利』の著作で日本図書館学会賞などの受賞歴があります。長きにわたり子どもの人権や国の施策などの広い視点から、教育における学校図書館の重要性を説かれ、示唆に富むお話をうかがえるものと、ご講演をお願いすることとなりました。

研修講座の基調となる講演は、膨大な資料収集と多くの文献に裏打ちされた、大変興味深い内容でした。図書館・学校図書館の重要性とその未来について語ってくださった渡邊重夫先生のご講演。その一部についてご紹介いたします。

1、民主主義を支える学校図書館

敗戦を経て、戦前からの法律や国定教科書によって画一化されていた言論・思想から方向転換が図られた。そのための大きな一歩が、敗戦の翌年に文部省より出された「新教育指針」という文章である。これには、人間性の尊重・人格の平等と尊重・個人の尊重などが掲げられている。これを礎として、その後の学校教育、学校図書館協議会の結成、さらには図書館法・学校図書館法の制定へもつながっていく。

その後、高度成長期を経て、社会が大きく変化していく中において、児童生徒は根拠や理由を示しながら自分の考えを表現する力が十分でないことや、自己肯定感・学習意欲・社会参画の意識が低いことなどが指摘される（平成28年12月28日中教審答申）ことになる。これらの課題を抱えた現代の児童生徒の成長のためにも、学校図書館の果たす役割は大きいものである。

2、「図書館の自由に関する宣言」と学校図書館

「図書館の自由に関する宣言」は、すべての図書館が本来果たすべき使命を再確認するべく、1954年日本図書館協会の総会で採択された。その後1979年に改定が加えられている。その内容は次のようである。

「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

図書館は資料収集の自由を有する。

図書館は資料提供の自由を有する。

図書館は利用者の秘密を守る。

図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵される時、我々は団結して、あくまで自由を守る。」

さらに、1991年全国学校図書館協議会総会で採択された「学校図書館憲章」は、「学校図書館は、資料の収集や提供を主体的に行い、児童生徒の学ぶ権利・知る権利を保障する」としており、このような理念は図書館運営の基盤となるものである。

戦後間もなくから整備が始まった学校図書館は、その当時から、「人間性の尊重」を土台として、「子どもの自主性、創造性、個性の尊重」「自ら考え、判断して行動する力を育成」するための施設でなければならないと考えられていたこと。それは、現代でも同様で、そのために、図書館は偏りなく資料と施設を充実させ、利用者に提供して、「自由を支える知の拠点」でなければならないこと。講演をとおして、図書館・学校図書館の果たす役割について胸に刻むものとなりました。

〔文責：北海道学校図書館協会 理事長 山口 朱 美 (札幌市立和光小学校 教頭)〕

■第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

楽しく進める情報活用能力の育成

大空町立東藻琴中学校 教諭 浦野由佳

「ミシンの使い方も知らない子どもに「エプロンを縫いなさい!」と指示するのと同じように、学校図書館の利用の仕方も知らない子どもたちに、「さあ調べなさい」という指導をしていないだろうか—

初めて佐藤敬子先生の講座を受けたときに聞いた言葉です。今でもこの言葉が強く心に残っています。子どもたちに単なる教科の知識を教えるだけでなく、この先、自分で調べ考えていくことができる力を身に付けさせること。これが、学校教育に必要なことだと実感しました。学校図書館づくりや学び方の指導について、もっと自分が学んでいきたいと思うような佐藤敬子先生との出会いでした。

今回の学校図書館研修講座には、日程の都合で一日目しか参加できませんでしたが、3年ぶりの集合形式での開催ということでもっと楽しみにしていました。参加した講座は「楽しく進める情報活用能力の育成指導」です。

その講座では、自分が普段授業で使用している教科書を持ち寄って、教材や指導内容が「情報・メディアを活用する学び方の指導体系表」のどの部分に関連しているかを分析検討する演習でした。

中学校1年生国語の教科書を見るだけでも、参考図書の特徴や使い方、情報を整理する方法、それをまとめて発表し一連の学習を振り返る活動など、関連する内容が反復的螺旋的に指導できるような単元が多く設定されていました。

今回の講座を受講して、自分の授業が指導体系表のどこに位置づいているのかを意識して実践していくことと、自分の教科だけでなく、学校全体の計画としてさまざまな教科や場面で指導していくことの大切さを実感することができました。

講座を終えて大空町に戻り、「次はどんな授業をしようか」とわくわくしながら今準備を進めています。これから本校の先生方・学校司書さん、いつも手助けしてくれる地域の図書館司書さんたちと協力しながら学校図書館づくりやその実践に励んでいきたいです。

楽しく有意義な学びの時間をありがとうございました。講師の方々、北海道学校図書館協会の皆様に心から感謝いたします。

支部だより ●札幌支部●

札幌支部は、研究主題を『「未来を拓く力を育む学校図書館」～学びを支える学校図書館を目指して～』と設定しています。学校図書館が、子どもたちの読書活動を支える「読書センター」としての機能や、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる「学習センター」「情報センター」としての機能を充実させていくために研究実践に取り組んでいます。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、4月26日(火)にオンラインにて「令和4年度札幌市学校図書館協議会総会」を開催し、活動をスタートしました。以下に主な取組を記載します。

○実務研修会 7月27日(水)「図書館クリニック」

・道SLA研究部長をファシリテーターとして迎え、実際に札幌市立伏見小学校の学校図書館をリニューアルしました。

○第68回札幌市読書感想文コンクール表彰式 11月5日(土)

・中央図書館を会場に、多数の応募の中から審査の結果選ばれた札幌市の小・中・高校生を表彰しました。

○第45回札幌市SLA研究大会 12月15日(木)(予定)

・学校図書館を活用した授業実践を通して、今年度の研究主題を具現化し、さらに深化を図るために開催します。今年度は小学校4年生社会科での実施を予定しています。

また、札幌市学校図書館協議会の活動を広く知っていただくために、ホームページを適宜更新したり、SLA通信を発行したりするなどの活動にも取り組んでいます。今年度も例年とは異なる状況であり、活動も苦慮しているところではありますが、学校図書館が子どもたちの学習に資する場であることには変わりはありません。今できることをしっかりと行い、子どもたちの深い学びに役立つ学校図書館づくりに取り組んでいきたいと考えています。

〈文責：札幌市学校図書館協議会 事務局長 米田朋弘(札幌市立藤野中学校 校長)〉

■第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

人と人がつながる学校図書館の実現

北海道教育大学附属札幌中学校 教諭 小笠原 太郎

討議「図書館資料の活用とその指導～中・高等学校」で発表する機会をいただき、誠にありがとうございました。

今回は国語科での4つの実践を発表しました。2年「多様な方法で情報を集めよう」での様々なメディアを活用する調べ学習の実践を2つ、2年「魅力的な提案をしよう」での複数人によるICT機器を活用した情報の共有と整理についての実践を1つ紹介し、書籍による調べ学習の実践とその際の生徒の意識調査に触れ、今後の学校図書館やその指導のあり方・課題について私見を述べさせていただきました。

実践と分析を通し、一人一台端末に慣れた生徒にとって「書籍を使った調査は時間がかかり、面倒で大変だ。インターネットなら、ピンポイントで必要な情報がすぐに見つかる。」という感覚は少なからずあることが分かりました。そんな生徒たちが書籍を使う必要性を感じたり、その価値に気付いたりするためには、教科担任が一回の授業で指導するのではなく、様々な教科、活動において情報資源を活用する学びが豊富に実践されることが望まれます。その実現には、教諭と図書館スタッフとの連携が必要となります。図書館スタッフが有益な資料を用意するには、学習内容が事前に教諭から提示されなければなりません。それらを生徒が有効活用するには、活用方法の適切な指導が不可欠です。

討議の中では、参加者の皆さまからもその連携についての実際的な取組や課題についてご意見を頂きました。「図書館資料充実のために情報収集として、普段の授業を見学に行っている。」「事前に教諭の困り感を聞いておき、それに対応して資料を準備した。」などの成果もあげられる一方、まだまだ教職員の連携がうまく取れない実状があるとの声も上がりました。

ICTではどんなことができ、何に課題があるかといった情報機器の実態や、学校図書館にはどんな書籍があるか、用意できるかなどの学校図書館についての情報、各教科や行事などでの情報資源を活用する学びの実施状況を、図書館スタッフとして発信したり教職員で共有したりすることが図書資料の有益な活用につながります。生徒が図書資料を上手に活用し、学びを広げたり深めたりするためには、まず教職員から、学校図書館において、人と人とのつながりが重要であることが、今回の討議で改めて確認できたと思われま

■第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

学校図書館の大切さを実感した3日間

岩見沢市立岩見沢小学校 司書教諭 東 香代

子どもたちが自分から本を手にとって読書を楽しむような学校図書館づくりの実現が課題であると思い、研修講座に参加させていただきました。

研修のはじめに、渡邊重夫先生の講演「民主主義と学校図書館～図書館の自由に関する宣言と関連して～」から学校図書館が戦時中に思想統制の道具として使われた過去を反省し、戦後は平和と民主主義を守る道具として使われなければいけないという信念を貫いていること、そして表現の自由が守られなくなると他の人権も守られなくなってしまうことについて強く心に残りました。常にこのことを心に置いて学校図書館の運営に携わっていく姿勢や、子どもたちに伝えていく責任があることを実感しました。先生の熱意のこもったお話に、勇気をいただく思いで拝聴していました。

その後のお昼休みの時間には、同じ会場が「読書アニメーション」の会場になり、部屋の前面が楽しそうな絵本でいっぱいになりました。自由に手に取ってよいということでしたので、見せていただいていると「3びきのかわいいおおかみ」という絵本が目につきました。手に取ってみると、「その本おもしろいですよ。」と声をかけてくださった方がいらっしやいました。その本は、「3びきのこぶた」のパロディになっていること、「3びきのこぶた」の原作のお話は日本で出版されているスタンダードな内容とは違うこと等々、お話をお聞きしているうちに、自然と「本当はどんなお話なんだろう…原作が読んでみたい…」という気持ちになっていました。…そうです。お話をして下さった方は、「読書アニメーション」の講師、佐藤広也先生だったのです。「アニメーション」を直々に体験させていただく貴重な機会をいただきました。三日目の討議でも初めて特別支援学級、学校での読書指導についての実践をお聞きする貴重な経験ができ、読み聞かせの大切さを実感することができました。

研修講座を受講させていただき、子どもたちが読書を楽しむようになるためには必然的に本を手取る場を作り出していくことも必要なのだということがわかりました。それを子どもたちと一緒に楽しみながら実践されている講師の先生方の姿勢がとても素敵でした。沢山のアイデアを教えていただき、私自身もぜひ実践してみたいと思うことばかりでした。できることから少しずつ取り組んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。

2022年度(令和4年度) 北海道の先生がおすすめる本 北海道指定図書

小学校低学年の部(1・2年)



さくらら

升井 純子/文 小寺 卓矢/写真
アリス館 1,540円(税込)
北国の桜の木は、じっくり開花の準備をします。自分の咲く日は自分でめぐる、さくらちゃんをまわりも温かく見守ります。



きたぎつねとはるのいのち

手島 圭三郎/絵・文
絵本塾出版 1,870円(税込)
北海道の冬は、動物にとっても厳しい季節。やがて、春の陽射しに包まれて、きたぎつねは、生きる幸せを感じるので。



すみれちゃんと ようかいばあちゃん

最上 一平/作 種村 有希子/絵
新日本出版社 1,430円(税込)
山また山のその先に、ようかいばあちゃんはすんでいます。ひまごのすみれちゃんは、一人でおとまりするのですが…。



ゆきのようせい

松田 奈那子/作・絵 石黒 誠/監修
岩崎書店 1,540円(税込)
秋のおわり、雪虫はいきものたちに冬の訪れを知らせにゆきます。ある一匹の雪虫も、りすたちのところへ行きますが…。

66 中学校の部



みつばちと少年

村上 しいこ/著 高山裕子/絵
講談社 1,540円(税込)
北海道の大自然を舞台に、『みつばちマーヤの冒険』を愛読する少年と、様々な事情を抱えた子どもたちの交流を描く感動作!



マイブラザー

草野 たき/著
ポプラ社 1,650円(税込)
夢も友だちもなく、5歳児の弟の面倒を見る毎日。イクメン中学生・海斗の迷走と目覚めを描く、笑って泣ける成長小説。

小学校中学年の部(3・4年)



クマが出た! 助けてベアドッグ クマ対策犬のすごい能力

太田 京子/著
岩崎書店 1,430円(税込)
人も、クマも助けたい!人とクマ共存のために働く、職業犬、ベアドッグの活躍を描くノンフィクション。



きけんなゲーム

マロリー・ブラックマン/作
もりうち すみこ/訳 佐竹 美保/絵
文研出版 1,430円(税込)
病気のため、運動も旅行もできなかったサムが林間学校に行くことに。それは「きけんなゲーム」のはじまりだった…。



命を救う 心を救う 途上国医療に人生をかける小児外科医 「ジャパンハート」吉岡秀人

ふじもと みさと/文 佼成出版社 1,650円(税込)
ミャンマーで貧しい人を無償で治療してきた医師の吉岡さん。その半生と忘れ難い日々を綴った児童書ノンフィクション。

小学校高学年の部(5・6年)



ガ 蛾 姿はかわる

イザベル・トーマス/文 ダニエル・イグナス/絵
青山 南/訳 化学同人 2,090円(税込)
うすい色の蛾と、こい色の蛾。産業革命の大気汚染を生きのびてきたオシモフリエダシヤクの、進化のおはなし。



天の台所

落合 由佳/著
講談社 1,540円(税込)
卵も割れない小6男子、がみババのもとで料理修業始めました!避けられない喪失との向き合い方を、料理を通じて描く力作。



五七五 ほくのとなりはブラジル人

乃乃華 れん/作 黒須 高嶺/絵
文研出版 1,540円(税込)
5年生の早川あさひは、ブラジルから来た日本語を話せない女の子ラウラと川柳をつくることに。困ったあさひはどうする?



北海道の本を読みましよう!

第68回 青少年読書感想文全道コンクール 第48回 北海道指定図書読書感想文コンクール

- 主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
- 後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 ●ホームページ 北海道学校図書館協会 検索

学校図書館情報

◆2023年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

日時：2023年5月13日（土）

場所：かでの27

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催場合があります。

今年度同様、参集しての開催を予定しておりますが、今後感染状況がどのようになるかは不透明です。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆第68回青少年読書感想文全国コンクール表彰式

表彰式は、2月3日（金）に行われました。感染症対策のため、表彰式会場への入場制限を設けており、オンライン配信にて参加いたしました。北海道の受賞者は次のとおりです。

- ・内閣総理大臣賞（最優秀作品）
帯広市立大正小学校3年 久保咲楽さん
「和菓子の世界、いとをかし」
- ・全国学校図書館協議会長賞
北嶺中学校3年 前田海杜さん
「北斎が呼びかけている」

北海道の子どもたちの作品が全国コンクールでも優秀な成績を収めることとなり、とても喜ばしく思います。各支部の取りまとめや審査に当たられた皆様に改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。次回のコンクールにおいても子どもたちのために皆様のお力添えをお願いいたします。

◆全国学校図書館協議会 各県SLA事務局長会議開催

2月2日（木）に昨年度に引き続きオンラインで開催されました。今年度行われる各地区の学校図書館研究大会について交流し、北海道からは令和8年度に札幌開催を予定している全国学校図書館研究大会についてPRいたしました。

◆第45回北海道学校図書館研究大会

令和5年9月1、2日には北海道学校図書館研究大会 苫小牧大会が予定されています。苫小牧支部を中心に研究組織、日程や分科会の構成、授業者や提言者等が固まってきました。大会当日にはぜひ苫小牧に足を運び、北海道の総力を結集して大会を成功させましょう。

◆「北海道の読書」の販売について

1月に読書感想文コンクール作品集「北海道の読書」の発送作業を終えました。まだ若干残部がありますのでお声がけいただき、追加注文がありましたらお申込みください。

事務局

事務局長 新津 智哉（札幌市立西陵中学校校長）

事務局校 札幌市立西陵中学校

〒063-0835 札幌市西区発寒15条2丁目5-1

TEL 011-662-9323 FAX 011-661-3729

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介

『図書館にまいこんだ こどもの大質問』

こどもの大質問編集部（編集）

発行：青春出版社

書店発売日2023年1月13日

ISBN 978-4-413-23281-4

定価 1,350円+税



「胸がキュンとするようなお話をおしえてください」「おひめさまになりたい!」「飼っているカマキリを戦いに強くしたいです。どうやったらできますか?」「サンタクロースはいないって、本当?」「さいしょのにんげんはこどもなの?おとななの?」「神さまって、なに?」「くまの本はどこにありますか?」「ねえ、赤ちゃんの出てくる本ない?」……などなど、かわいい質問・疑問・難問からはじまった、図書館司書さんたちのていねいでマジメな奮闘記59話。

全国各地の図書館のユニークなレファレンス事例を、描き下ろしイラストともに楽しく紹介しています。

編集後記

今年の学校図書館研修講座は、3年ぶりに集合形式で行われました。共通講座で講演をいただいた渡邊重夫先生のお話を聞き、学校図書館が地域の子どもの育て、民主主義を支えているのだという思いを強くしました。お忙しい中、各講座で発表いただきました皆様を初め、関係の皆様、ありがとうございました。

（編集：村山 知成 野村 邦重）
大久保 雅人 新津 智哉

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>